

アリペイの利用拡大へ

導入サイトのプロモも

ソフトバンク・ペイメ
ソフトバンク・サービス(SBP)は、アリペイの導入を促進するネット

販売企業が増えているが、サイトのプロモーションなども請け負うことで、サービス導入を促す狙いがある。

SBPSはソフトバンクグループを中心とした決済代行を手掛けている。PCI-DSS(クレジットカード情報の保護基準)や情報セキュリティマネジメントシステム(ISO27001)、プライバシーマークを取得するなど、セキュリティの高さに強みを持っている。

SBPSでは、同社の「オンライン決済ASP」の決済手段としてアリペイをシステムに組み込み、「アリペイ国際決済」として日本の通販サイトに導入できるようにサービス化。また、「中国に進出する通販企業の多くは知名度不足に悩んでいる」(単立和彦取締役COO)ことから、今後はサービスを導入したサイトのプロモーションも手掛ける。

すでに、六月には丸井が運営する「マルイウェアチャネルインターナショナル」に、アリペイを導入しているが、中国のアリペイのサイトでプロモーションを行うことで認知度が上昇。アリペイ導入後、中国からのアクセス、売り上げとも急上昇するなど、効果を上げている。親会社のソフトバンクがアリババと提携していることも強みとなりそうだ。